

一般的な指示 実験試験 (20 点)

以下の条件を満たさない場合、失格となることがある。

2025 年 7 月 19 日

試験時間は 5 時間で、合計 20 点満点。

試験の開始と終了は、アナウンスで示されるほか、1 時間ごとに経過時間が示され、試験終了の 30 分前、15 分前、5 分前にも示される。

指示があるまで封筒や箱を開けないこと。

机上に用意されている次のものを使用してよい。(1) ボールペン、(2) シャープペンシル、(3) 消しゴム、(4) 目盛付き定規、(5) コンパス、(6) 電卓。

試験中

- 指定されたボールペンを使うこと。メモ、図、表、グラフの下書きにシャープペンシルを使う場合は、最終版のアウトラインをボールペンで必ずなぞること。
- 最終的な解答には、**A** と書かれた専用シートを使用すること。適切な箇所に解答と必要な考察を記入すること。求められているグラフを描くこと。不要な答えは取り消し線で消しておくこと。
- 下書き用に **W** と書かれた白紙のワーキングシートが用意されている。指定されたものを使用すること。採点してほしくない解答や下書きは取り消し線で消しておくこと。各シートの表 (おもて) のみを使用し、枠外の余白には記入しないこと。
- 必要ならば、**Z** と書かれた追加のワーキングシートを使うことができる。「Help」の旗を掲げて、試験監督に知らせること。
- 解答は読みやすく、かつ簡潔に書くこと。方程式、論理演算子、記号、スケッチなど、考えたことを最もよく伝えるものを使うこと。採点者は多言語に対応していない可能性があるため、長文や冗長な表現は避けること。
- 特に指定がない限り、誤差 (不確かさ) の評価は必要ない。また、特に指示がない限り、データの点の数や測定回数は自分の判断で決めてよい。
- 許可なくブースを離れないこと。トイレ休憩やその他のサポートが必要な場合は、「Toilet」「Water」「Help」と書かれた旗を上げて試験監督に知らせること。

試験終了時

- 試験の終了が告げられたら、すぐに筆記をやめること。
- 表紙を上にして、表向きに、一般的注意、問題用紙 (**Q**)、解答用紙 (**A**)、作業用紙 (**W**)、(もしあれば) 追加作業用紙 (**Z**) の順に重ねる。それぞれはページ番号順にする。すべてのシートを窓付き封筒に入れ、最後に、カバーシートの ID、氏名、座席番号が窓から見えることを確認すること。
- 退出は試験監督の指示に従うこと。**何も持って出ないこと**。時間の許す限り、すべてを元の状態に戻しておくこと。ご協力をお願いします。

特に注意する事項

答案では、特に断りのない限り、常に問題文に示された物理量を用いること。複数回測定をした場合には、結果を表に明示し、プロットした物理量が異なっている場合にはそれも表に明示すること。すべてのグラフは、関係する物理量を明確に示すこと。すべての場合において、使用したすべての物理量の単位を示すこと。